

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	視能訓練士学科3年制	科目区分	その他	授業の方法	演習
科目名	国家試験対策演習V	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2)
対象学年	3年	学期	後期	教室名	1001教室
担当教員	黒川歳雄・三辻真由美				
実務経験と その関連資格	黒川歳雄 視能訓練士として大学病院で斜視弱視検査、眼底写真、神経眼科検査などを中心にして12年勤務。その後総合病院で一般眼科診療に携わり画像検査を軸に全般的な検査を担当。視能訓練士免許(実務27年)。日本眼科学会会員、日本神経眼科学会会員。  三辻真由美 視能訓練士として、眼科にて視能検査に9年間従事している				
《授業科目における学習内容》					
神経眼科の過去問題をジャンルごとに出題しポイントを交えて解説していく					
《成績評価の方法と基準》					
本試験および平常点(割合8:2) 講義中に出題した問題の採点から平常点を算出					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
『視能学』、『視能訓練士セルフアセスメント』					
《授業外における学習方法》					
これまで学んだことを総復習し自分の弱点と思える分野がどのあたりかを分析し、まとめ直しておく					
《履修に当たっての留意点》					
新しい問題が出てでも対応できる知識と思考力をつけるため、考え方を身につけることができるよう能動的に取り組んでもらいたい。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	外眼筋関連の苦手領域を認識する			
	各コマにおける授業予定	外眼筋・眼球運動障害に関する問題の解答			
第2回	授業を通じての到達目標	眼筋麻痺問題で得点源を広げる			
	各コマにおける授業予定	外眼筋・眼球運動障害に関する問題のポイント解説			
第3回	授業を通じての到達目標	視神経や視路関連領域での弱点を知る			
	各コマにおける授業予定	視神経および視路に関する問題の解答			
第4回	授業を通じての到達目標	同領域での弱点を克服する			
	各コマにおける授業予定	視神経および視路に関する問題のポイント解説			
第5回	授業を通じての到達目標	内眼筋関連領域での弱点を知る			
	各コマにおける授業予定	調節・輻輳および瞳孔に関する問題の解答			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	同領域での弱点をなくしていく		
	各コマにおける授業予定	調節・輻輳—瞳孔に関する問題のポイント解説		
第7回	授業を通じての到達目標	眼瞼、眼窩および眼振領域での弱点の認識		
	各コマにおける授業予定	眼瞼、眼窩および眼振に関する問題の解答		
第8回	授業を通じての到達目標	同領域での弱点の克服		
	各コマにおける授業予定	眼瞼、眼窩および眼振に関する問題のポイント解説		
第9回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第10回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第11回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第12回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第13回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第14回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第15回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			